

プログラム

13:30 開演、主催者・来賓あいさつ

13:40 基調講演「世界遺産が抱える現状」

■松浦晃一郎さん（第8代ユネスコ事務局長）

14:00 合唱

■姫路市立広嶺中学校コーラス部 ■指揮：竹上孝子・姫路市立広嶺中学校教諭

『交響詩ひめじ』より第2章「城—千姫によせて」

伴奏：横谷静美さん

『Peace of Mind』（ユネスコ・バリ本部公式ソング）

伴奏：城之内ミサさん（音楽家・ユネスコ平和芸術家）

14:15 休憩

14:30 パネルディスカッション「未来に引き継ぐべき遺産について ～人類が共有する有形、無形の宝物～」

【パネリスト】

■松浦晃一郎さん

1937年、山口県生まれ。外交官、国連職員。香港総領事、駐フランス大使などを歴任し、1998年に世界遺産委員会議長。1999年にアジア出身で初のユネスコ事務局長に就任し、2009年まで務める。「世界文化遺産」地域連携会議顧問。



コメント

日本が世界遺産条約に参加したのは、世界遺産条約成立後20年経った1992年でしたが、日本の提案に基づき翌1993年には日本の誇るべき歴史的な文化遺産である姫路城と法隆寺が日本の世界遺産の第1号として誕生いたしました。それから20年経った今年にこのようなフォーラムが開かれ世界遺産の今後につき意見交換する機会が作られたことを大変嬉しく思います。

■城之内ミサさん

3年B組金八先生など、数々のドラマや映像音楽を手がける一方、自作品アルバムは欧米でチャートイン。「世界遺産トーチランコンサート」を主宰し、全曲オリジナルで指揮とピアノを担当。ニューヨーク・カーネギーホールなど5大陸で実施。作曲部門で日本人初のユネスコ平和芸術家。



コメント

ユネスコ・バリ本部から任命され、ユネスコ平和芸術家として自作品を各国の奏者と一緒に演奏し、世界遺産保護の重要性を伝える活動をしています。その時代、時代を生きる人の営みや感情によって文化が育まれることへの畏敬の念を込めて作曲する私にとって、今回のフォーラムは私自身が学ばせていただく素晴らしい機会と思っています。皆様にお会い出来ることを心待ちにしております。

■大野玄妙・法隆寺管長

1947年大阪府生まれ。聖徳宗第6代管長、法隆寺第129世住職。3歳から聖徳宗本山法隆寺に住み、小学3年で得度。龍谷大学文学部を経て同大学院を修了。93年に法隆寺執事長となり、法起寺住職、法隆寺住職代務者、同宗管長代務を歴任。99年から現職。



コメント

平和目的の世界遺産は、地域の誇り・精神的支えとして、譲る意識が醸成されねばなりません。地域ぐるみの平和活用によってこそ、そこに命が宿るものなのです。

世界遺産は、人々の営みと共にあって初めて意義があり、将来に引き継がれるべき存在となります。私達には、これを人類の為に活かす努力が求められています。

■石見利勝・姫路市長

姫路市生まれ。京都大学理学部卒、東京工業大学理工学研究科博士課程修了。工学博士。立命館大学教授などを経て、2003年4月から現職。



コメント

姫路城大天守の保存修理の工事現場では年明けから素屋根の撤去が始まり、来年の夏ごろには純白の大天守が姿を現し始めます。世界遺産の保存修理の現場を常時皆さんに見ていただくという、前例のない試みも好評のうちに終えることができそうです。

今回のフォーラムでは、世界遺産の保存修理の意義をはじめ、姫路城の整備やまちづくり、文化遺産の活用について話し合っていきたいと思っています。

【コーディネーター】

■上田千華さん（フリーアナウンサー）

NHK奈良放送局、NHK福井放送局キャスターを経て、現シナジー所属。NHK番組イベント『きょうの料理』、『日曜フォーラム』、読売新聞『源氏物語～千年の時を超えて』シリーズ他、番組キャスター、イベント司会、フォーラムコーディネーター等実績多数。



15:50 終演